

慶良間諸島国立公園内でのホエールウォッチング

慶良間諸島国立公園では、ただクジラを見る（見せる）というホエールウォッチング（以下WW）ではなく、自然に寄り添う持続可能なWWを行っています。

自主ルールや思いを伝えるブランドブック（日本語・英語）を作成し、国内外の皆様にご覧いただけるよう伝える準備をしています。

他には例を見ない優しさにあふれるWWを慶良間諸島国立公園でお楽しみください。

○座間味村ホエールウォッチング協会
所要時間：1時間～2時間
村内各ショップへお申し込みください。

○渡嘉敷村ホエールウォッチング協会
所要時間：2時間
村内各ショップへお申し込みください。

（各HPは、3ページ目参照）



慶良間だからできること

環境にやさしいルールがもたらす 心が豊かになるクジラとの出会い、 迫力と感動を味わう特別な体験

環境に優しい自主ルールのもと、クジラを愛して理解する村民たちがクジラとの信頼関係を築いてきた歴史とともに、船長や探鯨員の連携が「クジラにやさしいウォッチング」を実現しています。

その思いを紡ぎ、そっと見守る親子クジラとの遭遇や貴重なツアーの体験を通して、学びある「クジラの物語」へと導きます。

陸と海で連携した世界に誇る ホエールウォッチング

- 山からの探鯨システムを導入し、探鯨員がクジラ探索の重要な役割を担う
- 探鯨員と船長が連携することでルール適用海域で効率よくクジラを発見でき、ウォッチング船を分散させてクジラへの負担を軽減する



© 波嘉敷村ホエールウォッチング協会

探鯨員

慶良間群島と波嘉敷村に複数ある展望台から海域全体を見渡しながらクジラを探索し、クジラの正確な位置や様子ウォッチング船の船長に無線で伝えて船を誘導します。クジラに警戒心を与えず、船の分散を促す重要な役割を担う。

人とクジラの関係性が生む、特別な体験

- クジラから船に寄ってくる「たっくわり」という行動は、人や船が信頼されている証でもあり、海からのご褒美のような特別な体験である
- 個体識別によって、クジラの成長や移動距離、沖縄への来訪年や個性などを把握しており、ホエールウォッチングの活動にも反映されている
- 野生動物でありながら、特定のクジラに毎年のように会える希少性も魅力のひとつである



© 慶良間群島ホエールウォッチング協会

たっくわり

長年の自主ルールの努力でクジラが船を信頼し、クジラから船に寄ってくることもある。これを沖縄の方言で「たっくわり」といい、くつつく(ひつつく)を意味する。

個体識別

ザトウクジラは尾ビレの模様が1頭ずつ違い、慶良間諸島ではそれぞれのクジラにIDを振り分けて個体識別を行い、クジラの成長や移動距離、沖縄への来訪年や個性などを把握している。

迫力と感動を味わう体験とメリット

- 少人数制かつ、小型船ならではの臨場感と迫力を味わえる
- 地域の歴史や自然を語るベテラン船長やガイドがいてこそ、ツアーが盛り上がる
- お目当ての「クジラの行動パターン」に出会えなくても、船長やガイドの話に学びがあり、楽しめる
- ウォッチングポイントが沿岸から近く、移動距離が短いため、船酔いのリスクが少ない

ブランドブックから一部抜粋

慶良間の ホエールウォッチング運営に関する 自主ルール

1 協会会員と非会員に求めるもの

協会会員のボートは、必ずルールを守ること。
協会会員以外のボートには、ルールを守るよう協力を求めます。

2 ルールの適用海域

座間味村の各島沿岸から10マイル(18km)以内の海域、
渡嘉敷村の各島沿岸から7km以内の海域において適用します。

3 ルールを適用するクジラ類

ヒゲクジラ垂目(ザトウクジラなど)、およびマッコウクジラ

4 ヨットやサバニ、カヤック、SUPなどの 無動力船を含む、船舶のルール

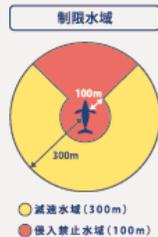
クジラの位置から300m以内を「減速水域」、クジラの位置から
100m以内を「制限水域」に設定します。

「減速水域」でのルール

- ・ホエールウォッチングボートは減速してクジラに接近する
- ・クジラの行動や進行方向を妨げるような操船をしない

「制限水域」でのルール

- ・船のほうからクジラに近づかない
- ・クジラから接近してきた場合、停船して制限水域から抜け出すまで維持する
- ・ホエールウォッチングボートは急発進、急旋回など急激な操船をしない



慶良間諸島の周辺海域でホエールウォッチングを行う際に大切な自然資源であるクジラの行動を妨げず、ザトウクジラの繁殖海域を保全することを目的として、座間味村・渡嘉敷村のホエールウォッチング協会が策定した自主ルールによる「ガイドライン」です。

5 時間の制限

1頭または1群のクジラに対して、2時間以内のウォッチングを原則とします。但し、親子クジラは、ウォッチング船全体で、午前・午後それぞれ1時間以内を厳守すること。

6 「母子クジラのサンクチュアリ」の設定

座間味島や渡嘉敷島の内海にあたる、一部の区域を「母子クジラのサンクチュアリ」に設定しています。

「母子クジラのサンクチュアリ」区域内でのルール
全般的に船でのホエールウォッチングを禁止します。但し、調査目的の調査船は可能とし、必ず「調査船旗」を掲げること。



7 ルール適用海域での禁止行為

クジラと一緒に泳ぐスイム、ダイビング、シュノーケリングなどの海面遊泳を含めて、クジラに対する「海中でのウォッチング」を禁止します。また、クジラの中撮影も原則禁止です。

例外 クジラから船の間近に寄ってくる「たっくわり」

この状況下のみ、クジラを驚かさないように配慮した上で、船の縁からそっとカメラだけを海中に入れて、海中の様子を撮影することは許可しています。

クジラの鳴き声、それに類似した音を海中で発しないこと
(但し、船舶が発する通常の動力音は含みません)

8 特例について

非営利による教育・調査・研究などでクジラ類に接近する場合は、事前に計画書を提出して協会の許可を受ければ可能とし、特例許可船は必ず「調査船旗」などの特例旗を掲げること。

その他に、必要な事項は協会規則委員会にて定めるものとします。



©座間味村ホエールウォッチング協会

ACCESS

那覇・泊港発のフェリーと高速船 船の旅で慶良間諸島へ

那覇空港から車で20分。那覇の「泊港」から慶良間諸島行きのフェリーと高速船が運航中。(※事前予約がおすすめです)



泊港～渡嘉敷港 32.12km (渡嘉敷村公式サイトより)
泊港～阿嘉港・座間味港 35～40km (座間味村公式サイトより)



泊港でのチケット発券・受付は
泊港南岸のターミナル「とまりん」1階です。
高速船の乗船口は泊港北岸となり、少し離れています。
(高速船のみ北岸でもチケット購入可)

INFORMATION

慶良間のホエールウォッチングに参加する

ホエールウォッチングツアーのお申し込みは、各協会のサイトよりご確認ください。詳しくはQRコードより公式サイトへ。



一般社団法人 座間味村ホエールウォッチング協会

1991年の設立と同時に自主ルールを策定。その翌年、座間味村が「鯨の里宣言」をする。1997年から展望台に探鯨員を配置する探鯨システムを開始して、「クジラにやさしいホエールウォッチング」の活動は、第11回エコツーリズム大賞「優秀賞」を受賞する。2016年2月に一般社団法人へと移行した。

〒901-3402 沖縄県島尻郡座間味村座間味地先1
TEL:080-8370-1084
E-mail:zwwa1991@gmail.com
URL:https://zwwa.okinawa/



一般社団法人 渡嘉敷村ホエールウォッチング協会

2023年11月に設立。歴史が長い座間味村WW協会の意向に賛同し、その自主ルールに則って実施している。2艇のウォッチング船は、1日1便午前発のみ運航する。鯨海峡とも呼ばれる渡嘉敷村で船長・ガイド・探鯨員らが知識と技術を集結させて、小規模のメリットを生かした希少性とクオリティでお客さまの満足度アップを目指す。

〒901-3501 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷201
TEL:070-9214-7592
E-mail:info@wwtokashiki.jp
URL:https://www.wwtokashiki.jp/

